



日本版「ネウボラ」構想 ～妊娠から出産、子育てまでの切れ目ない支援

A4判／364頁 2014年6月発行

1,980円(税込)

※購入申込フォームからお申込み頂けます。

[→ 購入申し込みフォームへ](#)

新たな子ども・子育て支援制度の施行(平成27年度)にあたり、市町村では事業計画の策定が義務づけられている。本書では、妊娠から出産、子育てまでの切れ目ない支援の体制を構築するフィンランドの「ネウボラ」に範をとり、日本の自治体による日本版「ネウボラ」モデルの構築を試行。

各自治体のモデル構築までの資料を掲載するとともに、自治体間の討議のなかでうまれた基本構想、課題などを一書にまとめた。

目次

はじめに

I 日本版「ネウボラ」構想について

1. 基本構想と主な論点

- (1) 地域における包括的支援体制の構築
- (2-1) 相談支援サービス(利用者支援事業)
- (2-2) 「包括的・継続的な支援プラン」(妊娠・出産・子育て)作成
- (3) 妊娠期支援サービス
- (4) 産前・産後支援サービス

2. 今後の課題と進め方

3. 自治体モデル

- 1-1 浦安市モデル
- 1-2 世田谷区モデル
- 1-3 和光市モデル
- 1-4 高浜市モデル
- 1-5 名張市モデル

4. 参考

- 1 フィンランドの「ネウボラ」の総合健診アンケート用紙
- 2 支援プラン担当者研修プログラム案
- 3 フィンランド「ネウボラ」関係資料
- 4 妊娠・出産に関する医学的知識
- 5 内閣府関係資料
- 6 厚生労働省関係資料